



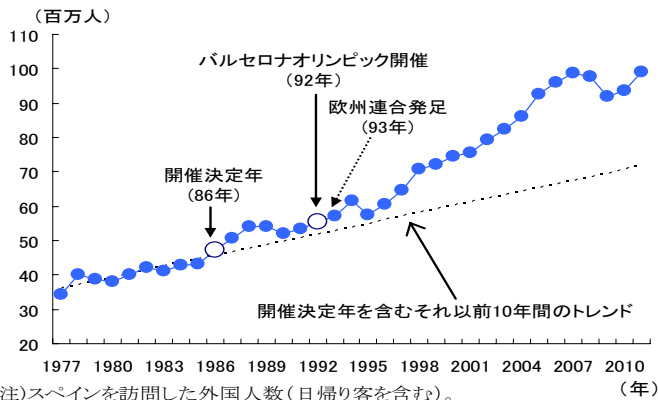
2020年東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合総会

2020年オリパラに向けた 首長連合設立の趣旨

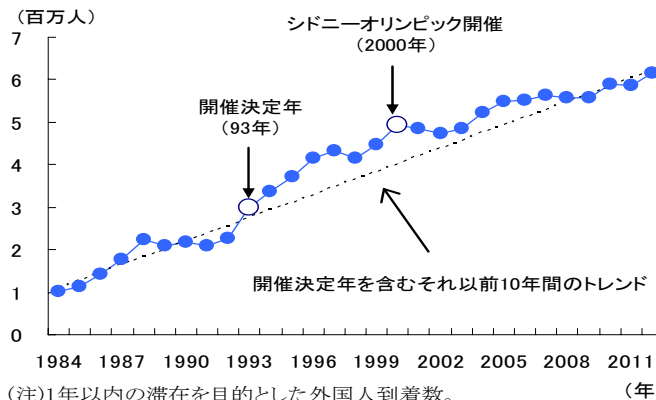


オリンピック・パラリンピック開催決定後のインバウンド観光客数の傾向

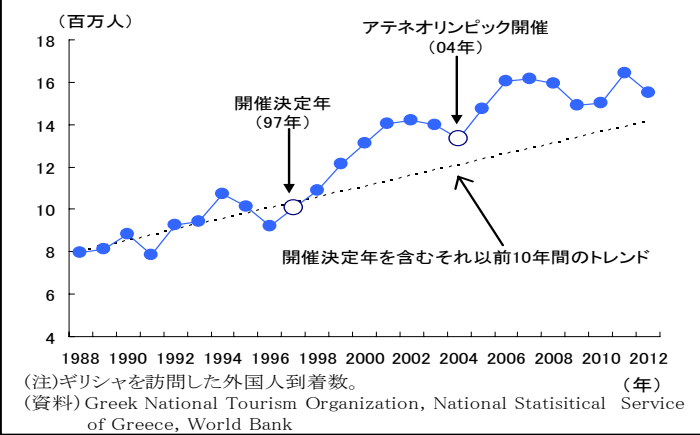
スペイン (1992)



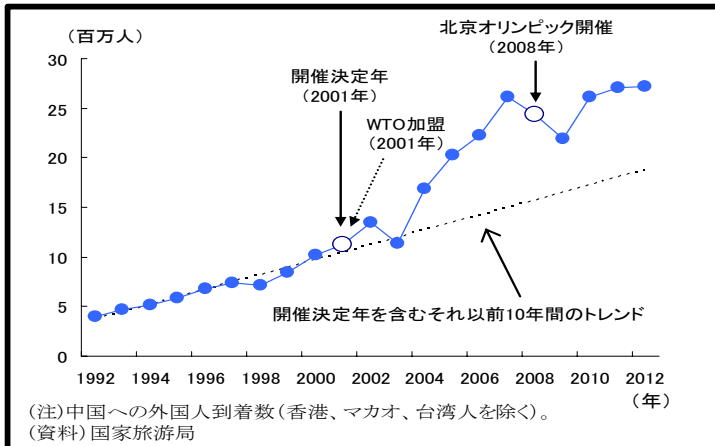
オーストラリア (2000)



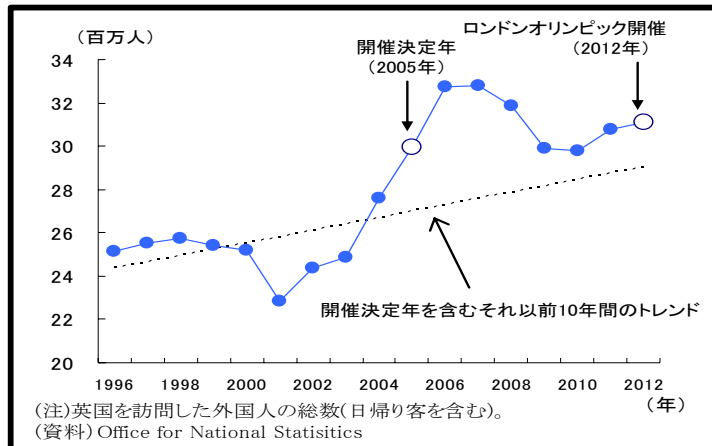
ギリシャ (2004)



中国 (2008)



英国 (2012)



出典：みずほ総合研究所株式会社

POINT

- ・開催決定後は、**開催国のインバウンド需要が長期にわたって喚起される** 傾向がある
- ・オリンピック・パラリンピックを主目的とする外国人旅行者は **パッケージツアーよりも個人旅行が人気**

2012年ロンドンオリンピックの取組と効果

地方への波及を狙った関連イベント

○カルチュラル・オリンピアド

英国の音楽、映画、芸術、食などをテーマにした文化プログラム

- 開催期間：2008年～2012年（4年間）
- 開催地：英国全土
- イベント数：約18万件

・スターリング城前で交響楽団の野外コンサート [スコットランド]
・花火パフォーマンス集団による花火イベント [湖水地方 ウィンダミア]
・カウントダウン・イベント [北アイルランド ロンデリー]
その他、「ワールド・シェイクスピア・フェスティバル」と銘打ち、
英国各地でシェイクスピア作品の上演等を実施

効果

訪英外国人や英国人延べ4,300万人がイベントに参加
※うち、2,580万人がロンドン以外の地域イベントに参加したと推計

**ロンドンのみならず
各地が活性化**

※DCMC（文化・メディア・スポーツ省）の調査より

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を活かす

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催は
単なるスポーツの祭典にとどまらず

地域活性化

産業・観光振興へ向けて

各地域の特色を活かして様々な取組を行う

絶好のチャンス

地域活性化を確実なものにするために

各自治体の

知恵と力を結集し

世界に向けて日本各地の魅力

及び総合力を発信



『ヒルズマルシェ』@アークヒルズ

2020年東京オリンピック・パラリンピックを活用した 地域活性化推進首長連合

趣 旨

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を
チャンスと捉える

地域の活性化に向けた具体的な取組を
戦略的かつ効果的に実践する

各自治体の宝を磨くために
知恵と力を結集し、活性化につなげる

東京オリンピック・パラリンピックの
気運を高め、強力に支援する

参加自治体：**310自治体**（H27.6.8現在）
内訳：239市、59町、12村

